

学びの動機は実体験で変化したか？

～東京大学FLYプログラムの事例から～

- ▼ 学生時代は大学で専門知識を高めると同時に、場所に縛られずに多様な体験を通して自己成長できる時期です。大学外での実体験は学生をどのように変え、成長させるのでしょうか？
- ▼ 今回は非常にユニークな東京大学のFLY Programに注目しました。
- ▼ FLY(Freshers' Leave Year) Programは、2013年に東大で始まった「初年次長期自主活動プログラム」です。入学直後の学部新入生が、自ら申請して1年間の特別休学期間を取得し、自ら選んだ東京大学以外の場において、ボランティア活動や就業体験、国際交流活動など、1年間にわたる社会体験活動を行い、そのことを通じて自らを成長させる自己教育のための仕組みです。
- ▼ 今回は、同プログラムの提唱者である濱田元総長の特別講演とプログラム修了生による体験談から、AI時代の人材育成における実体験の意義を考える機会にしたいと思います。

*日 時 2023年7月12日 (水) 18:00～20:00 / 参加費 無料

*方 法 オンライン (Zoom)

*申 込 <https://00m.in/PM4Ye> 又は右のQRコードから



*プログラム

18:00～18:05 開会挨拶 公立長野大学長 (前秋田県立大学長) 小林 淳一

18:05～18:30 特別講演：なぜFLY Programを始めたのか？

東京大学名誉教授 (第29代東京大学総長) 濱田 純一

18:30～19:15 FLY Program 修了生の体験談 (各15分)

①東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 修士課程1年
平田 駿輔

②東京大学農学部 応用生命科学課程 動物生命システム科学専修4年
姜 利英

③東京大学工学部 システム創成学科 4年 森原 ソフィア遥

19:15～19:55 パネルディスカッション

パネリスト：濱田 純一 東京大学元総長

山本哲也 東京大学体験活動担当課長、修了生3名

モデレータ：梶谷 誠 電気通信大学名誉教授

19:55～20:00 閉会挨拶 電気通信大学長 田野 俊一

主催 一般社団法人 スーパー連携大学コンソーシアム

<https://sites.google.com/view/super-daigaku/>